

2007 年 11 月 21 日

パラリンピック金メダリストの盲目のランナー
ヘンリー・ワンヨイケが河口湖マラソンに参加
～環境問題への取り組みとアフリカをサポート～

スタンダードチャータード銀行（本店：ロンドン、CEO：ピーター・サンズ／東京支店：東京都千代田区、CEO：マーク・デヴァダソン）がグローバルで展開する視覚障害者支援活動「Seeing is Believing」の親善大使であるヘンリー・ワンヨイケ氏が、その伴走者であるジョセフ・キブンジャ氏とともに、11月25日（日）に開催される河口湖マラソンに参加します。

ワンヨイケ氏はパラリンピックの金メダリストであり、世界の様々な陸上大会に参加し、記録を樹立しています。河口湖マラソンでは、スタンダードチャータード銀行が提供する環境のためのプログラム「環境チャレンジ」の普及と、環境問題に対する人々意識向上、そしてワンヨイケ氏とキブンジャ氏の故郷であるアフリカのサポートを呼びかけます。

「環境チャレンジ」(<http://www.standardchartered.co.jp/japanese/groe2007.html>)は、スタンダードチャータード銀行が主催するリレーマラソン「グレイテスト・レース・オン・アース(The Greatest Race on Earth)」の一環として2007/08大会よりスタートしたプログラムです。環境のために簡単に実行できる誓いを、専用ウェブサイトを通じて登録してもらうことで、サポートしたいレース参加国を選ぶことができます。そして、サポートをしたい国として多くの票（一人当たり）を集めた上位3カ国に対し、WWF(世界自然保護基金)の協力のもと、その国にとって有益な環境プロジェクトにスタンダードチャータード銀行から総額100万米ドルが寄付されます。スタンダードチャータード銀行では、個人レベルでも環境を守ることができると思っています。この「環境チャレンジ」プログラムにより、人々の環境問題に対する意識を高め、個人が日常生活の中でできる環境への取り組みについて考える機会と同時に、環境問題で苦しむ国々をサポートする機会を提供しています。

また、今回の河口湖マラソンには、「アフリカ2008キャンペーン」(<http://www.africa2008.jp>)の一環として、Run for Africaのグループも参加しており、彼らとともに走り、アフリカのサポートも呼びかけます。「アフリカ2008キャンペーン」は、2008年に開催されるTICAD IV(第四回アフリカ開発会議)とG8サミットを前に、日本でアフリカへの関心を高め、がんばるアフリカの人々の姿や声を日本の皆さんに紹介するために開始されたキャンペーンで、外務省の後援をうけ、(特活)TICAD市民社会フォーラム(TCSF)に事務所をおいて運営されています。

ワンヨイケ氏は「再び来日の機会が持てたことを、大変嬉しく思っています。ひとりでも多くの日本のみなさんに環境チャレンジに参加してもらい、環境について考え、ひとり一人が行動を起こすと同時に、誓いによって私たちやアフリカをサポートしてもらえることを願っています」と述べています。

ヘンリー・ワンヨイケ

Henry Wanyoike

1974 年 5 月 10 日生

ケニア生まれのヘンリー・ワンヨイケ氏が陸上競技のトレーニングを始めたのは彼が 12 歳、まだ目が見えていた頃でした。その後 1995 年に、軽度の脳卒中に見舞われた際に視神経に障害を生じ、ワンヨイケ氏は突然視覚を喪失しました。しかし伴走者がいれば走れることを知った彼は、1999 年より学校の代表選手を務め、以降マラソン大会や世界選手権に出場しています。

現在ワンヨイケ氏の伴走者を務めるのは、長年の友人でもあるジョセフ・キブンジャ (Joseph Kibunja) 氏です。ワンヨイケ氏とキブンジャ氏の二人は互いの手首をストラップで結び、ワンヨイケ氏が失格にならぬよう、キブンジャ氏は常に彼のわずか後方を伴走します。

ワンヨイケ氏は、2000 年のシドニー・パラリンピックの 5,000 メートル走で初の金メダルを獲得しました。その他にも、2002 年に日本で開催された視覚障害者マラソンでは金メダル獲得とともに世界最高記録を更新し、2003 年 8 月の世界視力障害者選手権大会 (カナダ・ケベック州) では 5,000 メートル、10,000 メートル走の金メダルを獲得、2003 年のボストンマラソンで優勝、そして 2004 年 2 月のムンバイ・マラソンでは健常者も含め総合 4 位と、数々の輝かしい成績をおさめてきました。



2004 年のアテネ・パラリンピックでは 5,000 メートル、10,000 メートルのレースで 2 つの金メダルの獲得と世界記録の更新という快挙を成し遂げました。その後も、2005 年 4 月 17 日のロンドン・マラソンでも世界新記録 2 時間 32 分 51 秒を記録し、わずか 1 週間後のハンブルグでのレースではそれを 80 秒間上回る成績で、自己の保持する世界記録を塗り替えました。

また、ワンヨイケ氏はマラソンランナーであるのみならず、慈善家としても尊敬を集めています。彼は「ヘンリー・ワンヨイケ基金」を立ち上げ、アフリカおよび先進諸国における障害への意識喚起をめざし、Christoffel Blindenmission、Bensheim、Light for the Worldといった、様々な国際組織の活動に携わってきました。また、スタンダードチャータード銀行が視覚喪失者の視覚回復に向けて実施する Seeing is Believing キャンペーンの親善大使も務めています。

【参考資料】

環境チャレンジについて

スタンダードチャータード銀行は、GROE2007/08 大会より、新たに「環境チャレンジ(Environment Challenge)」プログラムを展開します。「環境チャレンジ」では、みなさんにウェブサイト(<http://www.standardchartered.co.jp/japanese/groe2007.html>)に掲載されている環境についての「誓い(Pledge)」の中から、最大 8 つまでを選んで実行していただきます。そして、その誓いによってサポートしたいレース参加国を選んでいただきます。サポートをしたい国として多くの票(一人当たり)を集めた上位3カ国対し、WWF(世界自然保護基金)の協力のもと、その国にとって有益な環境プロジェクトにスタンダードチャータード銀行から総額 100 万米ドルが寄付されます。獲得票数が最も多かった国には 50 万米ドル、2 番目に多かった国には 35 万米ドル、3 番目の国には 15 万米ドルが授与されます。結果はGROE最終レースとなる香港マラソンの翌日、2008 年 2 月 18 日(月)に発表されます。

上位 3 カ国が決定した時点で、スタンダードチャータード銀行は環境チャレンジのパートナーである WWF と協力し、勝利国の中で資金を必要しているプロジェクトのリストを確認します。そして、勝利国内のプロジェクト、または、勝利国に有益となるプロジェクトがスタンダードチャータード銀行によって選出されます。

誓い

スタンダードチャータード銀行は「環境チャレンジ」プログラムを、同行のグローバル・サステナビリティ戦略及び環境へのアプローチの重要な要素としています。GROE に「環境チャレンジ」を加えることにより、同行は従業員、顧客、そして一般の人々に、**水、土地と森林、大気汚染と気候変動**に対して与える長期的な影響を削減するために、私たち一人ひとりが簡単にできることを考えてもらいたいと願っています。

水、土地と森林、大気汚染と気候変動は、もっと調べてみよう(教育)というテーマとともに、キャンペーンの 4 つの重要なテーマとなっています。テーマごとに 2 つの誓いが用意されており、参加者にその中から選択し実行してもらいます。

- | | |
|----------------------|---|
| 水 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯を磨く際に水を流しっぱなしにしない ・ 毎日のシャワーにかかる時間を 1 分間短くする |
| 土地と森林 | <ul style="list-style-type: none"> ・ レジ袋を再利用するか少なくとも週 3 回は利用を断る ・ 印刷の際は、1 枚に 2 ページ分または両面印刷する |
| 大気汚染と気候変動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの設定温度を冷房は 1 度上げ、暖房は 1 度下げる ・ 部屋を出るときは電気を消す |
| もっと調べてみよう(教育) | <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインのカーボン計算機を利用し二酸化炭素の排出量測定する ・ My Environment のページで自分にできることを学ぶ |

スタンダードチャータード カーボン計算機

エディンバラ・センター・フォー・カーボン・マネージメントとウェブサイトデザイン会社ファクトノミーにより開発されたカーボン計算機は、利用者の家庭や移動先でのCO₂排出量を測定することができます。

このユニークなカーボン計算機は、スタンダードチャータード銀行のネットワークがある 50 カ国以上の国における家庭でのCO₂排出量測定が可能です。計算機はこの種の機器の中では最も精巧であり、利用者の国で用いられている単位で個人のCO₂排出量を確認する機会を提供します。

WWF(世界自然保護基金)

- ・ WWF は、100 を超える国々で活動する、1961 年創立の世界最大の自然保護 NGO (非政府組織)です。WWF は、自然と共生する人間生活の確立することで自然保護を行うことを目指しています。
- ・ WWF は、個人・企業・政府レベルでの協力により、以下の取り組みを行っています。
 - 地球全体の生物多様性を守り、絶滅危機種の保護を行う
 - 再生可能な天然資源を持続的なかたちで開発
 - 公害・過剰消費の軽減を促進

【参考資料】

グレイテスト・レース・オン・アースについて

グレイテスト・レース・オン・アース(GROE)は、世界屈指のエキゾチックな4つの都市を走る世界で唯一のリレーマラソンです。2004年にスタンダードチャータード銀行の企画・支援で始まったこのレースも今大会で4回目を迎えますが、108万米ドルにのぼる賞金総額は今なお陸上競技イベントの中では最高金額となっています。

2007/08大会は、過去最多となる33カ国から53チームの参加が決定し、GROEがマラソンのワールドカップのようになりつつあることを物語っています。

マラソンは伝統的な個人競技ですが、GROEにおいては創設以来、チームスポーツとして行われています。世界最速のマラソンランナーたちも4人1組のチームとして、ライバルたちよりも早い総合タイムを達成し、賞金を獲得するために、一致団結して1人1レースを走ります。

出場者たちは、世界のマラソンの中でも最もチャレンジングな状況に直面することになります。ナイロビの標高の高さ、シンガポールの湿度、ムンバイの暑さ、そして香港の登り坂が彼らを待ち受けます。このような厳しいレースの中で、スタンダードチャータード銀行のコアバリューであるパートナーシップ、チームワーク、信頼、勇気、意志の強さ、そして決意が、勝者を決める重要なカギとなるでしょう。

GROE2007/08 日程:	ナイロビ	2007年10月28日(日)
	シンガポール	2007年12月2日(日)
	ムンバイ	2008年1月20日(日)
	香港	2008年2月17日(日)

<http://www.thegreatestraceonearth.com/> (英語サイト)

<http://www.standardchartered.co.jp/japanese/TeamJapan.html> (チームジャパンプロフィール)

Seeing is Believingについて

Seeing is Believing は 2003 年にスタンダードチャータード銀行行員が中心となって回復可能な視覚障害の問題の意識を高め、募金を集めることを目的にグローバルな取り組みとしてスタートしました。すでに開発途上国の 100 万人の視覚回復に必要な募金を集め、視覚障害の問題に取り組んでいる NGO をサポートしてまいりました。現在 2010 年までに 1000 万 US ドルの募金を集め、20 カ国において、世界における回復可能な視覚障害の 1/4 以上に当たる 1000 万人の生活をよりよいものにすることを目指しています。わたしたちは Vision2020 のような先駆的なアイケア団体と協働し、人々の生活に直接インパクトを与え、将来に向けて、持続可能なヘルスケアを確立するためのプロジェクトをサポートします。

http://www.standardchartered.com/sustainability/community_seeing.html (英語サイト)

スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25 社にランキングされています。

スタンダードチャータード銀行は、創立以来150 年以上の歴史を誇り、アジア太平洋地域・アフリカ・南アジア・中近東・欧州・英国・米州の世界57 カ国で、店舗数1, 400 強(当行子会社・提携会社・ジョイントベンチャーを含む)の広範な地域拠点を網羅するグローバル・ネットワークを駆使し、世界で急成長を遂げる数多くの新興成長市場において、事業展開を行っています。

世界有数のインターナショナルバンクとして、全世界で100 以上の国籍のよって構成される60,000 人余名の行員を擁しています。この多様性は、私どもが持つ企業価値の真髄をなすものであり、また、世界がひとつの市場として統合されつつある現在、当行の企業成長を支えています。

スタンダードチャータード銀行は、その戦略的買収・提携、安定した財政基盤、多岐多様にわたる事業分野・金融商品・地域性、そして当行行員に支えられた堅調なオーガニック成長(買収等を含まない事業自体からの収益成長)により、アジア・アフリカ・中近東地域の急成長を続ける新興市場において、当行の優位性を確保しております。また、その総収益9 割強がアジア・アフリカ・中近東地域から計上されています。

スタンダードチャータード銀行は、世界各国で、個人および法人向けサービスに特化したコンシューマーバンキング部門・ホールセールバンキング部門による両面での業務展開を行っていることから、顧客の皆様には、グローバルな視点に立ち、かつ各地域で培った高い知識・ノウハウを駆使して、広範で革新的な金融商品・サービス、また、数々の賞に輝く、実力に裏づけされたファイナンシャル・ソリューションを提供しております。

また、当行グループで一律に適用される企業統治(コーポレートガバナンス)および企業責任(コーポレートリスポンシビリティ)に基づき、地域社会との一体性・環境保護・望ましいコーポレートガバナンスを図り、長期的なスタンスに立ち、確実に、サステナビリティ(持続的成長)のある事業構築を行っております。

2006 年The Banker(ザ・バンカー)賞において、スタンダードチャータード銀行は「最優秀世界銀行賞(グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー)」をはじめ、アジア太平洋とアフリカの主要2 地域において「地域最優秀銀行賞」、6 カ国での「最優秀銀行賞」、および「最優秀CSR(企業の社会的責任)賞」を受賞しております。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で127 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供、そして個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語): http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

スタンダードチャータード銀行 東京支店 コーポレート・アフケアーズ部

・ 森田 早智

Tel: 03-5511-1245

Sachi.Morita@jp.standardchartered.com

・ 部長 クリストファー・ドミッター Tel: 080-1037-6223(日本語対応可)

Christopher.Domitter@jp.standardchartered.com